

書店員が選んだ

今月のおすすめ本



『ダブルハピネス (講談社文庫)』

杉山 文野 / 著 講談社

心と体の不一致に苦悩する「性同一性障害」を抱えながらも、フェンシングに打ち込み、仲間や家族、愛する人たちとの理解を育んできた著者。辛さ、悲しみは2倍、でも2倍楽しいフミノ君の青春ストーリー。ドラマ「金八先生」がかつてテーマで扱い認知度が上がってきたものの、より正しく理解を広げるためのおすすめの1冊です。

(神田堂 大塚さん)



※ 写真は2006年発行の単行本のものです。

『らくがき絵本』

五味 太郎 / 著 ブロンズ新社

らくがきを描き込み楽しむ本です。真っ白なページだけでなく、らくがきの元が印刷されたページにお子様を描き込みできるようになっており、想像力と創作力を掻き立てられます。親子で楽しみながら世界で一冊のオリジナルらくがき絵本を完成させてください。

(興文堂 平田店 平林さん)

No
Image

『アヴェ・マリアのヴァイオリン』

香川 宜子 / 著 KADOKAWA

1挺のヴァイオリンが、現代日本と第二次世界大戦下のドイツという時空を超えて2人の少女を結び付ける。「あすか」はただ漠然と毎日過ごしている中学2年生。3歳から始めたヴァイオリンも何となく続けていたが、ある日オールドヴァイオリンを手にしたことから運命の歯車が大きく動き出す。実話を基にしたフィクション。

(中島書店 霜田さん)



『見えざる貌』

堂場 瞬一 / 著 中央公論新社

皇居周辺を走るランナーが襲われた。そして、ランナーとして売り出しているタレントも……。同一犯なのか？ それとも、タレントに対するストーカーなのか？

加害者と被害者、そして警察、三者三様の面白さがあります。

(中島書店 清水さん)



※画像のない本は、図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神 田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興 文堂書店 (97-3949)

小さいお子さま向けのおはなし会を平田店にて開催中(*^*)1月18日(日)2月15日(日)各日午後2時からです。

中 島書店 (54-3968)

本好きなスタッフが常に情報感度を磨き、本への愛情をたっぷり込めて店作りをしています。

丸 文塩尻書店 (52-5515)

えんぱーくから3階渡り廊下を使って徒歩約1分！図書館で気に入った本、店頭のない本は最短3日でお取り寄せいたします。

図書館職員が選んだ

今月のおすすめ本

『泥と青葉』

小島 ゆかり / 編 青磁社

2009年から2013年までに作った511首を収めた12冊目の歌集です。東日本大震災とその後の原発事故をめぐる状況を詠んだ歌や、病いを深める老いた父、独立していく娘たちを詠んだ歌が印象的で心に深く響きます。全国短歌フォーラム in 塩尻でもおなじみ小島さんの鋭い観察眼と豊かな感受性で捉えた心の闇と希望が表現されています。

(文学担当 田中)



『神保町公式ガイド VOL. 5』

神田古書店連盟

本屋だけじゃない。新しく神保町に出来たカフェやレストラン、酒場の情報も満載。何度行っても新しい神保町に出会えること間違いなし。このガイドを読めばすぐにでも遊びに行きたくなる！ 今まで神保町に行ったことのない方も、何度も行ったことのある方も、この本を片手に新しいお店に足を踏み入れてみませんか。

(総記担当 吉田)



『NPOのためのマーケティング講座』

長浜 洋二 / 著 学芸出版社

通常、ビジネスの分野で行われる「マーケティング」ですが、この本ではNPO活動にマーケティングの考え方を応用してみよう、と提案しています。活動資金を調達するのが大変になってきている昨今、NPOの活動や状況に沿って「受益者」と「支援者」の双方における価値やコスト等をマーケティングの視点で捉え直す手法が書かれています。「何となくやってきたこと」を見直す際にも参考になる本です。

(産業分野担当 原)



『「あ・そ・ぼ」やで!』

くすのき しげのり / 著 こうの 史代 / 絵 くもん出版

フランスから帰ってきて、日本の学校に転校した女の子ユキ。フランスでは友だちがたくさんいたから、日本でもたくさんできたらいいなと思っていたけれど……。ユキの転校初日の様子が、かわいらしい絵で描かれています。読んだ後は心がとても温かくなる一冊です。

(児童書担当 中澤)



『日本の古代遺跡気まぐれ散歩』

大野 治夫 / 著 イカロス出版

全国にある古代遺跡を30余年に渡って巡り歩いた著者が、あまり知られていない古代の痕跡を独自の妄想視点で紹介しています。諏訪大社・下社秋宮の万治の石仏や大王わさび農場にある古墳などの身近な遺跡から青森県にあるキリストの墓など、思わず足を運びたくなる遺跡が満載の一冊です。

(歴史分野担当 米山)



『親子で学ぶはじめての囲碁』

下島 陽平 / 監修 NHK出版

囲碁は、自分の色の石で相手の石を囲んで取り、陣地を増やしていくというルール、碁盤の上の闘いです。「難しい」と思われているルールを碁石をカメに、碁盤を無人島に見立てて、わかりやすく基礎から教えてくれます。親子や友だち同士で、囲碁を楽しんでみませんか。

(児童書担当 前田)

